

トピックス (TOPICS)

●CS改善プログラムの取組み

事業基盤の中核である正組合員の高齢化に伴う世代交代が本格化している状況下、正組合員数の減少に加え、JAバンク香川を取り巻く環境は刻々と変化しています。この環境変化に対応し、顧客に選ばれるJAを目指すためにJAバンク香川では、全店舗でCS改善プログラムに取り組んでいます。

令和4年度についても、JA、当会からCSサポーター28名および県域サポーター2名、併せて計30名を選任しています。「職員自ら考え、行動する」人材を育成することでJAの顧客満足度・職員満足度向上を目指した取組みにするため、JA経営層も率先して働きかけているほか、当会としても各種の支援を行っています。

CS改善活動の定着により、JAのお客様からは「支店の雰囲気が明るくなった」「職員の対応が良くなり、JAが変わった」等の声が数多く寄せられています。

●JAの支援・補完機能の強化

令和3年11月に開催された第16回香川県JA大会において決議された「香川県JAグループの重点取り組み事項」に基づき、当会は、JAの支援・補完機能を発揮するとともに、JAグループとして最大の機能を組合員に対して発揮できるよう、グループ組織間の一層の人事交流をすすめるとともに、機能分担の最適化や一体的な運営に努めます。

●経営力の強化と人材育成の取組み

当会は、社会的責任と公共的使命を果たし地域社会から信頼を確立するために、毎年度、当会ならびに県内JAの役員、幹部職員を対象にコンプライアンス研修会を開催するなど、コンプライアンスの実践に役職員一丸となって取り組んでいます。

さらに、『人事管理の基本方針』等に基づき、人材育成にも積極的に取り組んでおり、「階層別研修会」をはじめ、「コンプライアンス研修会」、役職員の健康管理に関する「衛生講習会」等を開催するなど、あらゆる機会を通じて経営力の強化と人材育成に取り組む、役職員の総合力発揮を目指しています。

●信用事業推進研修会

当会は、JAバンク香川中期戦略（2022～2024年度）の「くらし」領域における「金融仲介機能の発揮」を実現するため、信用部門職員の「顧客毎のライフプランにあった提案能力の向上」を目的として、標記研修会を開催しました。

研修会では講師による説明をもとに、参加職員がディスカッションやロールプレイングを実施することで、組合員・利用者の生活資金ニーズおよび資産形成・運用ニーズに応えることを目指しました。